

こころの救急箱 通信 第9号

発行：特定非営利活動法人 こころの救急箱 2015年9月

事務局：電話・FAX：06-6942-9092

e-メール cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp

URL <http://www1a.biglobe.ne.jp/cocorono9090baco>

相談電話：06-6942-9090（月曜日夜8時～火曜日朝3時）



『寄り添うということ』

淀川キリスト教病院 精神神経科部長 久保田拓志

医療や介護の現場で、「寄り添う」ことの重要性が注目される時代になりました。大災害の被災者への援助においても、寄り添うことの大切さが指摘されています。

寄り添うということは、その人の立場を重んじながらも、なお、必要なところを援助するという姿勢ではないでしょうか。また、「寄り添い」に呼応するようにして、スピリチュアルケアという言葉も徐々にではありますが、社会に浸透しつつあるように思います。

WHO（世界保健機構）憲章の前文には以下のような健康の定義がなされています。「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいう。」（日本 WHO 協会訳）

その後、1998年 WHO 執行理事会で討議の結果、健康の定義の変更が議決され、1999年総会で提案されていますが、採択には至らなかったようです。変更が検討された箇所は次のような文章です。「完全な肉体的(**physical**)、精神的(**mental**)、スピリチュアル(**spiritual**)及び社会的(**social**)福祉のダイナミックな状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」

この「**spiritual health**（霊的な健康）」を和訳する適切な言葉が見あたらなかったことが、採択に至らなかった一因かもしれませんが、日本においても、人々の霊的な健康をケアする「**spiritual care**（スピリチュアル ケア）」の時代に入ったと言えることができるでしょう。それは、「寄り添う」ことを真剣に追及する、人間存在のケアの在り方だと思います。